

ぐんぐん↑↑2024

R6. 8. 30

第 5号



↑本校 HP

～2学期始まりました！「心機一転」、はりきっていきましょう～



晩夏の候、ますますご盛栄のことと思います。28日(水)までの夏休みはいかがお過ごしでしたでしょうか。夏休み終わりにかけて、台風もやってきました。大きな被害がなければ幸いです。夏休みはきっと楽しく充実した夏休みになったのではないかと思います。子ども達にはこれからたくさん夏休みの話を聞いていこうかと楽しみにしています。…とは言っても、いつまでも夏休み気分ではられません。新学期が始まっています。「早寝・早起き・朝ご飯」を意識して、生活リズムを整えているでしょうか、いや、整えなくてははいけません。

新しい学期のスタートというものは、気のゆるみからか道具忘れや遅刻が多くなる時期でもあります。ご家庭では生活リズムにも気を付けながら、「道具や持ち物の確認(記名や補充)」の声かけもお願いします。生活面が整うと学習面も集中することができ、全体的に良いスタートがきれて学習にも伸びが見られます。逆に、2学期が始まってぼ～っとしたままでだらだらしていたのでは、宿題や道具の忘れ物は多くなり、先生やおうちの方から注意を受け、学習は思うように進まず、内容は頭に残らない。体もだるさが残って体調を崩してつい学校を休んでしまう…なんて悪循環が起こってしまいます。ですから、この始まりの1週間が2学期に向けての勝負の時期なのです!よい方向に子ども達が向くように力を合わせていきましょう。

保護者の皆様には、本校の教育目標「夢をもち、ふるさとを大切に思う児童の育成」にご理解をいただき、様々な面でご協力いただいています。2学期は運動会やバス旅行、親子ふれあい活動など行事が多く、学習面も生活面でもいろいろな面で成長が期待できる時期です。2学期もどうぞよろしくお願いします。

◇◇有意義に使えましたか、夏休み?～算数の復習～◇◇

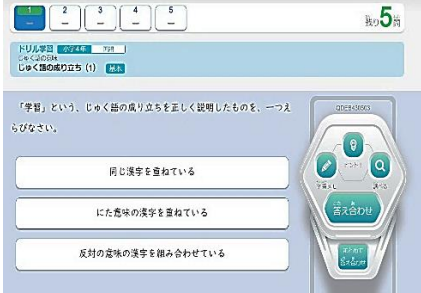
夏休みは宿題を活用して、1学期までの学習内容(前の学年の内容も含む)を振り返るにも有効な時間です。今年度は夏休みの課題に加えて、4～6年生までは一人一台端末(タブレット PC)を持ち帰り、自分に合った内容を自分のペースで取り組むことができる環境にありました。これらを活用して、復習の夏休みにしていると2学期からに上手に繋がり、安心してスタートができます。家庭での使い方を少しご紹介。

①最初の画面です。ここからスタート!	②ここから練習に入ります。	③学年と教科を選びます(前の学年もできる)。 ④学習する内容(単元)を選びます。
⑤内容には「解説」と「ドリル」があります。	⑥「解説」で内容を確認しましょう。	⑦「ドリル」には3つのレベルがあります。

⑧たくさんの種類の問題があります。復習、定着に活用しましょう。担任がこれらを使って課題（①の一番左）を出すことがあります。



↑ 4年算数「大きな数」の「基本」ドリル



↑ 4年国語「じゅく語のつくり」の基本ドリル



↑ 4年漢字…手書きで筆順を確かめながら練習できる

復習はもちろん、その時の学習内容の確認、予習に大活躍。2学期以降も効果的に活用していきます。

さて、夏休みの復習の機会がいかに大切か、ある教育関係のデータでは「算数の学力差は夏休み明けに出やすい」という記事があります（HugKum8/7 付け）。夏休みを使って学習・復習を効果的に行っている子とそうでない子では、その後に開きが出るそうです。とても興味深い内容です。一体どうしてでしょう？

理由の1つは、算数という学習が「積み上げ式」の教科だからだそうです。後で一気に取り組むより、こつこつと学習経験を積み上げていく方が身に付きやすい特性があるのです。算数ではどの学年であっても、それまでの計算力の基礎がなければ、その時の学習内容の理解が滞ってしまいますし、基礎的な力が身に付いてこそ、次のレベルの内容の理解ができるというものです。子ども達が好きなゲームで例えると、算数は RPG（ロールプレイングゲーム）のようなものです。RPG ゲームとは、経験値を積み重ねてレベルを上げていき、そのレベルに合う装備をしてそのステージの敵を倒していくことを繰り返していくゲームです。算数も同じようなものではないでしょうか。低学年で「たし算・ひき算・かけ算・わり算の基本」を学び、学年が上がるにつれて「四則（ $+$ ・ $-$ ・ $\times$ ・ $\div$ ）混合計算」や「文章問題」のような応用問題を解いていきます。つまり、算数はある時点で理解できていない内容があると、その先に進むことが非常に困難になってしまう教科なのです。

そこで必要になることが、ゲームで言う「経験値上げ（レベル上げ）」です。これを算数に当てはめると「経験値上げ（レベル上げ）＝計算練習や基礎問題の徹底」でしょうか。どの学年にも共通して出された夏休みの宿題「夏にチャレンジ」などはまさにうってつけの課題です。練習にもなりますし、できていない問題があれば、それは復習をする部分を見つけたことと同じで、苦手手の克服もしやすくなります。「復習」という意味では、いい点数を取ることもより「理解している内容と理解していない内容を洗い出して対応すること」の方が大切なのです。「できなかった問題＝理解していない内容」なので、その部分をきちんとやり直すこと、さらにはその内容につながる前の学年の内容に戻って復習することが大切です。使っていたドリル、学校で自由に持ち帰ることができる「復習の書」などをうまく使って何度も何度も繰り返してやってみましょう。根本から苦手をつぶすことで、初めて復習の意味があるのです。そこで上手な「復習」のポイントを3つご紹介します！

①短時間でも毎日繰り返しやるべし！…学習と学習の間隔があくと、内容を忘れてしまいがちです。

②つながりをきらないため週末も学習し、学習リズムを保つべし！…毎日少しでも OK。することを癖にしよう。

③毎日の学習時間は「学年×15 分」で考えてみるべし。…毎日していても、たかだか10分程度では本当には身に付かない。宿題や読書の時間も入れていいので、「学年×15 分」を基本にして取り組んでみましょう。



どんな学習であっても、子ども達だけでは成り立ちません。学校では私たち教員ががんばります。ご家庭での学習ではおうちの方が頼りです。子ども達が学習（宿題）をしている場面では、テレビやスマホは一旦お休み、読書をされたり近くにいていただいたりして、子どもから質問があった時には、ぜひその場で対応していただくと効果的だと思います。「鉄は熱いうちに打て」です。難しかった問題は「何が難しかったか」ぜひ質問してください。

☆「9月ノーテレビゲームスマホデー」は今週9/6（金）です。夏休みが明けてから2学期へとつなげる大切な時期です。このチェックも有効に活用して、学習リズム生活リズムを整えましょう。カード記入よろしくお願いします。また、親子読書も楽しんで取り組んでいただきたいです。